

都市再生整備計画 事後評価シート
東近江市太郎坊宮前駅周辺地区

令和5年3月

滋賀県 東近江市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	滋賀県		市町村名	東近江市		地区名	東近江市太郎坊宮前駅周辺地区			面積	19.6ha
交付期間	令和元年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和4年度		交付対象事業費	66百万円	国費率	0.4		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	地域生活基盤施設: 駅前広場							
			提案事業	地域生活基盤施設: 自転車駐車場							
			事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-								
		提案事業	-								
	新たに追加した事業	基幹事業	-								
		提案事業	-								
交付期間の変更	当初	-	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	-									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値				
	指標1	居住者人口	人/年	4,339人	H29	4,310人	R3	4,396人	△	あり	交通基盤の整備により駅の利便性が上がり、定住や居住人口増加に繋がっている。
	指標2	近江鉄道太郎坊宮前駅利用者の増	人/年	311人/日	H29	335人/日	R3	262人/日	△	あり	コロナ禍により活動の自粛や移動の制限等により公共交通の利用が控えられたことが大きな要因と考える。
	指標3									なし	
	指標4									あり	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値				
	その他の数値指標1	-	-	-	-		-			-	-
	その他の数値指標2	-	-	-	-		-			-	-
その他の数値指標3	-	-	-	-		-			-	-	
4)定性的な効果発現状況	地域のまちづくり協議会では事業の完成に併せ記念切符の作成や観光案内看板を独自で作成し、地域が一体となり当該地域の魅力を発信するなど地域活性化に取り組む動きが活発化した。										
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築	歴史文化遺産を生かした観光促進事業に取り組んでいくため「聖徳太子の足跡をたどる近江鉄道を活かした観光促進協議会」を設立。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 観光促進事業との連携しながら、当駅と観光地を繋ぐ交通ネットワークを構築していく。			

様式2-2 地区の概要

東近江市太郎坊宮前駅周辺地区(滋賀県東近江市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年	値	年	値	年
大目標 近江鉄道を生かした地域拠点の形成 目標1 交通機能の充実によるまちなか居住の推進 目標2 地域資源活用によるにぎわい創出	居住者人口	人/年	4,339	H29	4,310	R3	4,396	R3
	近江鉄道太郎坊宮前駅利用者の増	人/日	311	H29	335	R3	262	R3



太郎坊宮前駅広場整備

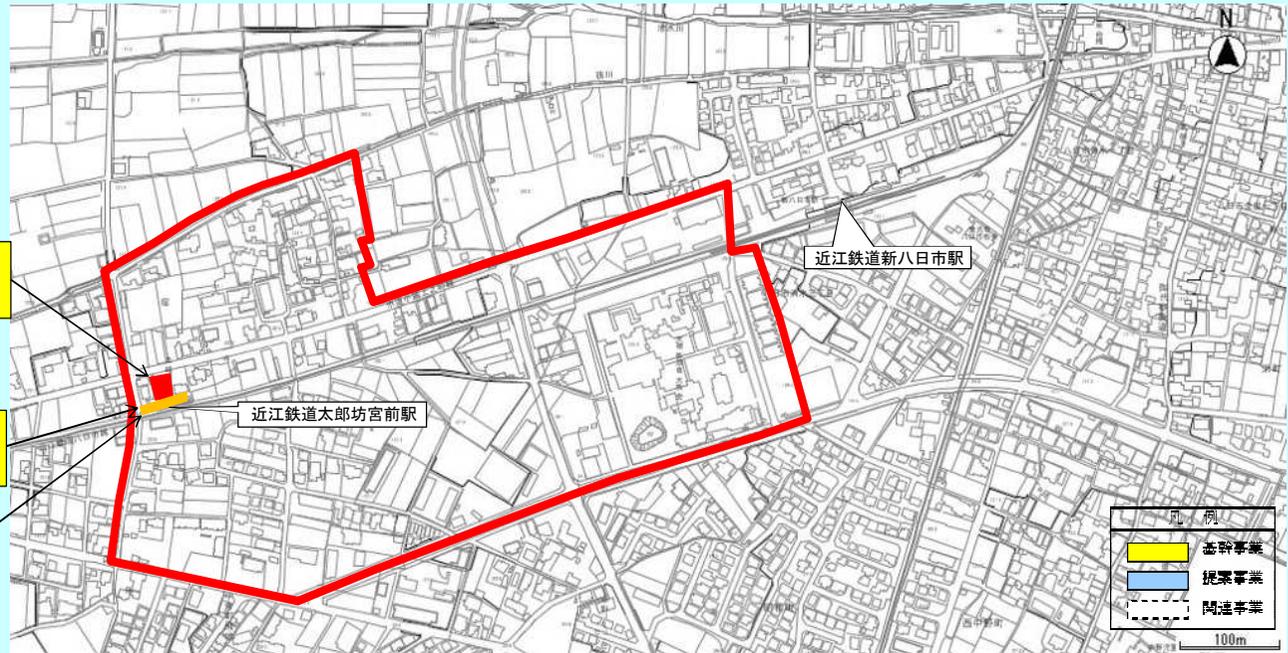
- 基幹事業
地域生活基盤施設
・太郎坊宮前駅広場整備



太郎坊宮前駅自転車駐車場

- 基幹事業
地域生活基盤施設
・太郎坊宮前駅自転車駐車場整備

- 関連事業
太郎坊宮前駅ホーム上屋改修



まちの課題の変化

- ・買物、通院、公共・公益サービスの利用が公共交通を介してアクセスしやすく、公共交通の利用機会の創出に繋がっている。
- ・市民の生活の基盤となる都市機能を整備することにより、区域内居住者人口が増加するきっかけとなった。

今後のまちづくり
の方策
(改善策を含む)

- ・周辺地域の文化財や隣接する中心市街地との連携により交流人口の拡大を図り、回遊性を向上させる。
- ・公共交通との連携を図りながら、誰もが安心して住み続けられるネットワーク型公共交通体系のまちづくりを推進する。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	太郎坊宮前駅 駅前広場	66	A=535㎡	45	A=535㎡	事業費見直しによる減額	影響なし	●	
	太郎坊宮前駅自転車駐車場	17	A=122㎡ 100台	21	A=122㎡ 100台	事業費見直しによる増額	影響なし	●	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無				
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	確定見込み	数値	事後評価	○	△	●	あり	なし
指標1	居住者人口	人/年	住民基本台帳の町別データから区域内を整理し算出する。	4,294	H23	4,339	H29	4,310	R3	モニタリング			モニタリング					
										事後評価	●	4,396	事後評価	○				
指標2	近江鉄道太郎坊宮前駅利用者の増	人/年	近江鉄道が集計する駅別乗降人数から算出する。	212	H23	311	H29	335	R3	モニタリング			モニタリング					●
										事後評価	●	262	事後評価	△				
指標3										モニタリング			モニタリング					
										事後評価			事後評価					
指標4										モニタリング			モニタリング					
										事後評価			事後評価					
指標5										モニタリング			モニタリング					
										事後評価			事後評価					

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	計測の結果、評価値(確定値)は4,396人となり、目標値4,310人/年を達成したため	
指標2	新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通の利用が控えられているが、各種イベントや地域行事の再開により当駅を結節点として、ゆるやかに回復しつつある。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標1							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

地域のランドマークとなる駅周辺を整備することにより、地域住民が主体となって記念切符の作成や観光案内看板のリニューアルを行うなど当該エリアのマイルール意識の醸成に繋がっている。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	実施状況			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	実施状況			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
	構築状況		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
聖徳太子の足跡をたどる近江鉄道を活かした観光促進協議会	予定どおり実施した		観光名所の最寄り駅である太郎坊駅を観光の玄関口として活用し、点在する歴史資源を観光資源としてツアー等を実施	組織名: 聖徳太子の足跡をたどる近江鉄道を活かした観光促進協議会	観光促進事業との連携しながら、当駅と観光地を繋ぐ交通ネットワークを構築していく
	予定はなかったが実施した	●			
	予定したが実施できなかった (理由)				
g	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
意見照会の実施	観光物産課、管理課	令和4年10月	公共交通政策課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○		指標○		指標○		指標○	
指標名		居住者人口		近江鉄道太郎坊宮前駅利用者の増加					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	地域生活基盤施設：太郎坊宮前駅広場整備	◎	地域の最寄り駅となる交通結節点が整備されたことにより利便性向上とともに人口減少の抑制にも大きく貢献し、目標を達成した。	△	新型コロナウイルス感染症による外出自粛やリモートワークの影響により利用者が減少し、目標達成には至らなかった。				
	地域生活基盤施設：太郎坊宮前駅自転車駐車場	◎		△					
提案事業									
関連事業	観光拠点形成重点支援事業	○							

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ー：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	生活利便施設の維持を図りつつ、交通ネットワークの充実と居住誘導を推進していく。	観光政策と連携を図りながら、交流人口の拡大と利用者増加に向けた利用促進を進めていく。		
-------	---	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類									
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ー：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)			
------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
意見照会の実施			公共交通政策課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
都市拠点への公共交通を介したアクセスの向上	・駅前広場の整備により高齢者等交通弱者のアクセス性が向上し、都市拠点への移動がしやすくなった。	-	「うるおいとにぎわいのまち東近江市」を地域づくりの理念として交通環境の整備を図ることで、区域内人口の増加や地域の活性化に繋がっている。
生活利便施設の改善	・地域の最寄り駅となる生活利便施設の整備を行うことにより、歩行の妨げや放置自転車の防止が図られた。	-	
通学時の安全対策	・駅前広場の整備により狭隘部での乗降が緩和され、通学時の安全性が向上した。	-	
交通ネットワークの構築	・駅前広場の整備により、従来からあるバス停を移動することで、より安全に利用できるとともに二次交通とのアクセス性が向上した。	-	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	(改善策と重複するため、ここでは省略する)		

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	居住者人口	人/年	4,339	H29	4,310	R3	確定 ●	4,396	○	あり			
指標2	近江鉄道太郎坊宮前駅利用者の増	人/年	311	H29	335	R3	確定 ●	262	△	あり ●	令和5年6月	近江鉄道が集計する駅別乗降人数から算出	
指標3				H		H	確定			あり			
指標4				H		H	確定			あり			
指標5				H		H	確定			あり			
その他の数値指標1				H			確定						
その他の数値指標2				H			確定						
その他の数値指標3				H			確定						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	採用した指標については、人数で設定しているため、効果発現状況を分かりやすく把握することができた。	コロナウイルス等の間接的な要因に左右されず、事業実施効果が直接的に反映される指標の採用も必要である。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		コロナウイルス等の要因に左右されず、事業実施効果が直接的に反映される指標の設定も必要である。
	うまくいかなかった点	指標2「近江鉄道太郎坊宮前駅利用者の増」については、新型コロナウイルス感染症による外出自粛やリモートワークの影響もあり、効果が測定しづらい点があった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	地域のランドマークとなる駅周辺を整備することにより、地域住民が主体となって記念切符の作成や観光案内看板のリニューアルを行うなど、まちづくりに対する関心が高まった。	地域住民が主体となって盛り上げて行くためのしかけや、WEBの活用など多様な市民参加のあり方も検討する必要がある。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに掲載	令和5年3月13日(月)から 令和5年3月24日(金)まで	同左	担当課へ直接持参、郵送、ファックス、Eメール	都市整備部公共交通政策課
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他	市ホームページに掲載	令和5年3月13日(月)から 令和5年3月24日(金)まで	同左		

住民の意見	特になし				
-------	------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員					
その他の委員					

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

都市再生整備計画(第1回変更)

ひがしおうみしたろぼうぐうまええきしゅうへんちく
東近江市太郎坊宮前駅周辺地区

しが ひがしおうみ
滋賀県 東近江市

令和3年9月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	滋賀県	市町村名	東近江市	地区名	東近江市太郎坊宮前駅周辺地区	面積	19.6	ha
計画期間	令和元年度	～	令和3年度	交付期間	令和元年度	～	令和3年度	

<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 大目標 近江鉄道を生かした地域拠点の形成 目標1 交通機能の充実によるまちなか居住の推進 目標2 地域資源活用によるにぎわい創出
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市は、7つの市町が合併してできた市であり、旧市町の中心部などを核とした複数の自立した生活圏が連携する都市構造となっている。八日市中心市街地を都市拠点、JR能登川駅周辺を副次都市拠点、各支所周辺を地域拠点として主要な都市機能を集約し充実を図りながら鉄道・バス等の公共交通機関の効果的な運行を確保することで、市内各地域の交流の利便性向上を図るとしている。 当地区は居住誘導区域として設定しており、都市機能誘導区域へ徒歩や自転車等端末交通を介して容易にアクセスできる区域である。一方、高齢化が進む中、運転免許証の返納も増加し自家用車を運転できず、日常生活に必要なサービスを受けることが困難になってきている。このため生活機能の確保や医療機能を確保し、中心市街地の公共サービス機能との連携を図る。 当該駅は本市を代表する観光名所の最寄駅であることから太郎坊宮をはじめ、点在する歴史資源を観光資源として活用し交流人口の拡大を図る。
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> 本地区は、都市機能及び公共交通が利用しやすい地域であり市の中心部に鉄道や徒歩、自転車を利用して容易にアクセスが可能な地域である。平成29年3月策定の東近江市立地適正化計画では居住誘導区域に位置している。また、勝運の神様として知られる太郎坊宮(阿賀神社)の最寄り駅となる近江鉄道太郎坊宮前駅を有しており、近江鉄道線と観光地を結ぶ重要な結節点である。 当駅については通勤、通学による利用者も多く、地域の交通拠点として重要な役割を果たしている。 周辺地域の文化財を活用したまちづくりを推進するため、東近江市歴史文化基本構想(平成29年3月策定)をマスタープランとして位置づけ、周辺文化財の魅力を発信している。 また、平成29年9月に「聖徳太子の足跡をたどる近江鉄道を活かした観光促進協議会」を立ち上げ、当駅を起点として周辺に点在する歴史文化遺産を生かした観光促進事業に取り組んでいる。
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 自家用車を利用できない高齢者等が日常生活に必要なサービスを受けることができ、本市の中心となる都市拠点への移動や公共・公益サービスの利用が公共交通を介してアクセスしやすくなるよう、駅周辺の環境整備を一層推進する必要がある。 昭和49年に建設された自転車駐車場は老朽化が著しいとともに収容台数を超えた利用が続いている状態であり、歩行の妨げや放置自転車の増加が懸念される。 駅には自動車駐車スペースは無く、送迎は路上において行われており、天候によっては大変混雑している。駅に接する道路は通学路にも指定されており、通学時の安全確保が必要である。 太郎坊宮前駅利用者は増加傾向にあるが、観光を目的としての利用は少ない状況にある。当駅と観光地を繋ぐ交通ネットワークの構築が必要である。
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>【総合計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二度の合併で誕生した広大な市域に形づくられた地域特性を生かしつつ、市民の快適な生活や地域の産業活動等を支えるため、基盤となる都市機能を整える必要がある。東近江市総合計画(平成29年3月策定)では、都市と農村が自然と共生し、地域の特性を生かした自律的な発展及び駅等を活用した土地利用を基本としている。 また都市計画マスタープラン(令和2年6月策定)では、当地区が位置する地域別構想においては本市の「都市拠点」として、高次都市機能を集約、強化することにより中心市街地の活性化を推進し、人が集い交流するまちづくりを進め、市街地の背後に広がる田園や箕作山、愛知川等を保全し市街地内の緑化の推進による自然と市街地との調和や商業、文化、福祉施設等の充実による都心居住の利便性、快適性の向上を図るとともに「自然と都市・農村が共生するうらおいにぎわいのまち東近江市」を地域づくりの理念としている。 東近江市景観計画(平成23年4月施行)では、地域特性に応じたにぎわいと安らぎのある多様な景観を呈している地域として市街地ゾーンに位置している。住宅地においては、それぞれの住宅地特性やコミュニティに応じたうらおいと安らぎを感じる快適な街並を保全・創出することを基本とし、歴史・文化を生かしたまちづくり等、商業振興と一体となった景観形成を図る地域として位置づけされている。 東近江市立地適正化計画(平成29年3月策定)では当該地区は居住誘導区域に設定されており、「駅に近接する、歩いて楽しい便利な都市拠点の形成」をまちづくりの方針としている。

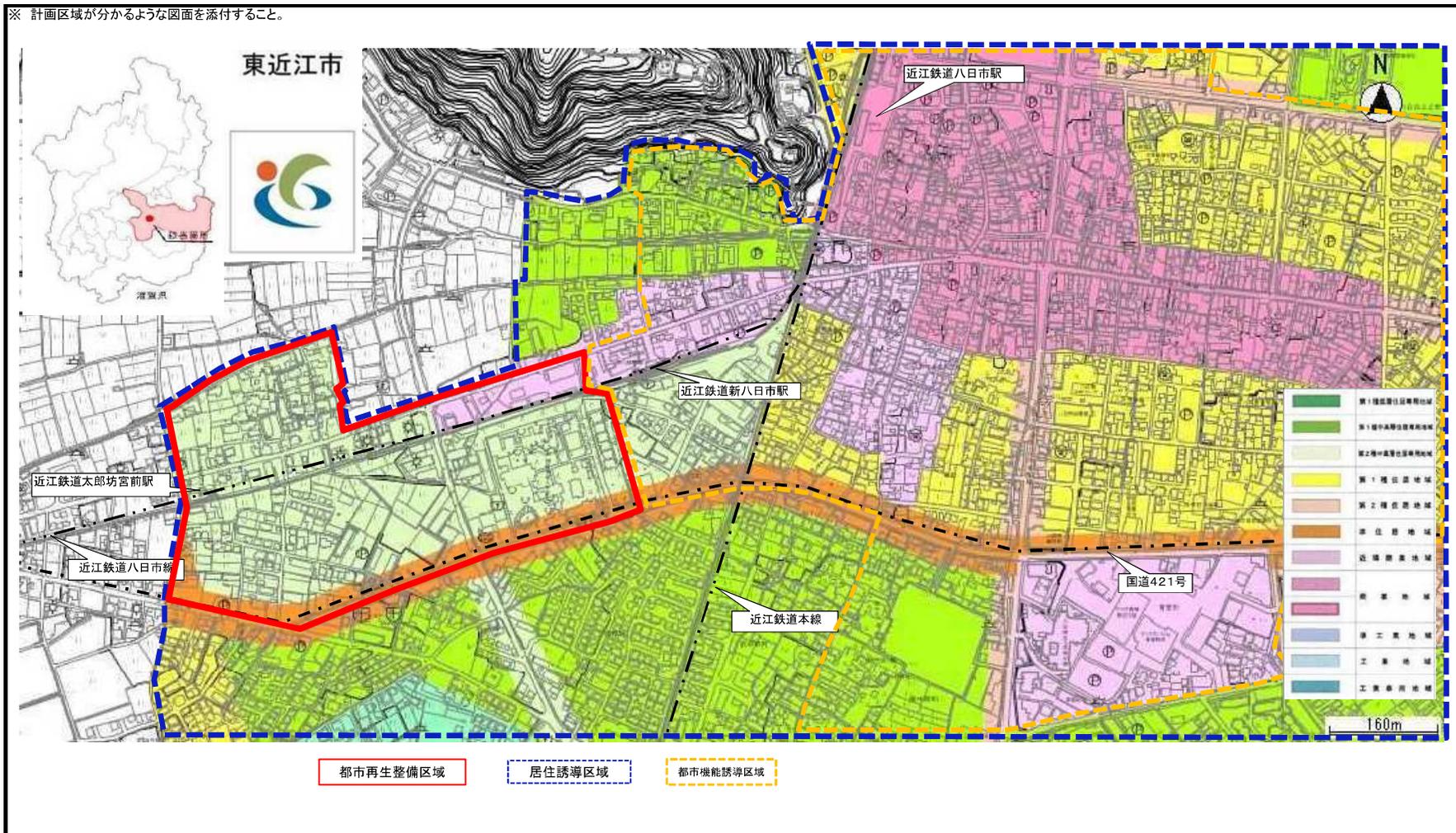
都市再生整備計画の整備方針等

様式(1)-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1:交通機能充実による利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民や来訪者が快適に利用できる空間の創出を図り、地域拠点の形成を行う。駅前には自転車駐車を整備し、放置自転車を防止することで快適性、利便性を高める。また、駅前広場を整備し車両停車スペースを設け、送迎待ち車両の軽減を図ることで通学時の安全確保に努める。 	<p>【基幹事業】太郎坊宮前駅広場整備(地域生活基盤施設) 【基幹事業】太郎坊宮前駅自転車駐車場(地域生活基盤施設) 【関連事業】太郎坊宮前駅ホーム上屋改修</p>
<p>整備方針2:地域拠点を核とした地域資源の活用</p> <p>来訪者と観光地を繋ぐ交通ネットワークの拠点として停留場や小型バスが転回可能な広場整備を行い、周辺に点在する地域資源や中心市街地と回遊性を持たせることで、賑わいの創出を図る。</p>	<p>【基幹事業】太郎坊宮前駅広場整備(地域生活基盤施設)</p>
<p>その他</p> <p>【官民一体となった協議会の発足】 地域住民や地域の現状や課題に知見を有する者で組織する「聖徳太子の足跡をたどる近江鉄道を活かした観光促進協議会」を発足。</p> <p>【継続的な取り組み】 周辺地域の歴史や文化を観光資源として活用するとともに、近江鉄道を生かした観光振興、交流人口の拡大や周辺地域の活性化を目的として、観光拠点重点支援事業に取り組んでいる。</p>	

東近江市太郎坊宮前駅周辺地区(滋賀県東近江市)	面積 19.6 ha	区域 小脇町、八日市清水2丁目、八日市清水3丁目、中野町
-------------------------	---------------	---------------------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



東近江市太郎坊宮前駅周辺地区(滋賀県東近江市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標 近江鉄道を生かした地域拠点の形成 目標1 交通機能の充実によるまちなか居住の推進 目標2 地域資源活用によるにぎわい創出	代表的な指標	居住者人口 (人/年)	4,339人 (H29年度)	→	4310人 (R3年度)
			近江鉄道太郎坊宮前駅 (人/日)	311人 (H29年度)	→	355人 (R3年度)

